

## 京北地域小中一貫教育校検討協議会 第4回施設整備検討部会摘録

- 日 時 平成28年12月14日(水) 20:00~20:30
- 場 所 京北合同庁舎 大会議室
- 出席者 施設整備検討部会メンバー35名(5名欠席), 事務局及び関係職員13名  
委託先設計会社8名
- 説明資料 資料1 第4回ワークショップ資料
- 配布資料 資料2 施設整備の基本方針
- 議事要旨 施設整備の基本方針について

### <報告>

施設整備の基本方針について、資料1に基づき、設計担当から報告を行った。

- 計画の基本方針は、これまでの意見を踏まえ、「①京北のシンボルとなる学び舎」「②京北の自然を活かした、木のぬくもりを感じる学び舎」「③地域に開かれ、地域と共につくる学び舎」「④子ども・地域にとって、安心・安全な学び舎」とする。
- 施設配置は、前回ワークショップの意見を踏まえ、次のとおり計画した。
  - ・サブグラウンドの位置は、職員室から見えるように校舎棟北側から東側に変更
  - ・プールの位置は、既存体育館南側ではなく、校舎の近く(サブグラウンド北側)に変更
  - ・テニスコートは2面確保するため、元周山小敷地からメイングラウンドに近接した位置(メイングラウンド南側)に変更
  - ・十分な駐車スペースを確保するため、元周山小敷地や既存体育館南側、メイングラウンド横に計145台分の駐車場を確保
  - ・南面の法面に馴染み、圧迫感を低減させるように南側校舎棟を2階建てとする。
  - ・ランチルームは外の景色がもっと見えるように形状の向きを変更
  - ・南側校舎棟中央に、地域に開かれ、皆を迎えるシンボルとなる玄関を設置
  - ・バスロータリーから昇降口まで最短で繋がるアプローチ階段を設置し、校舎を大きなゲートと見立てた動線を計画。バスロータリーから昇降口までのエレベーターも設置
  - ・アプローチ階段の途中に、小運動や音楽・演劇の発表・練習等に使える使い勝手の良いピロティを設置
- 外観デザインは、「周辺の山並みに馴染む勾配屋根」を設け、「色彩は周辺の景観と調和するアースカラー」とし、「南側校舎正面玄関とともに地域のシンボルとなる時計台をコーナー部に設置」することを基本にまとめた。地域のシンボルとして、ウッディー京北交差点付近から見る景観を一新する外観デザインとなった。

### <意見・質疑応答>

- アプローチ階段で入学・卒業時に子どもたちが写真を撮るなど夢を抱ける計画である。
- サブグラウンドやプールが校舎のそばにあり、教育活動の主たる施設が集まった良い計画になった。
- これまでの意見を踏まえた素晴らしい計画となっており、大変満足している。

- アプローチ階段に融雪設備はついているのか。駐輪場の確保は。  
→ (設計担当) 階段に一定屋根を設け、雪を防げるようにしているが、今後検証のうえ、融雪設備なども検討する。駐輪場の設置場所は今後検討する。
- 校舎屋根からの落雪対策は。時計台で星の観測ができないのか。  
→ (設計担当) 校舎にはコンクリートの庇を設け、その下を通路とすることを考えている。融雪設備についても検討する。また、2階に観測テラスを設けることを考えている。時計台の活用方法は、例えば電光掲示板やスポットライトの設置なども考えられ、今後の検討とする。
- 階段の勾配はどの程度か。  
→ (設計担当) 階高15cm、奥行き35cmである。バリアフリー基準をクリアしたうえで、緩やかな勾配を考えている。
- 遊具はどこに設置されるのか。  
→ (設計担当) サブグラウンドに設置する計画である。

<確認・決定事項>

- 施設整備の基本方針として、出席者全員が拍手で了承した。
- 今年度中に、本基本方針を基に教育委員会で基本計画を取りまとめる。
- 施設整備の基本方針を「協議会だより」で地域の皆様にお知らせする。今後、意見をお寄せいただく可能性もあるため、また、設計段階で計画の一部が変更されることがある。